

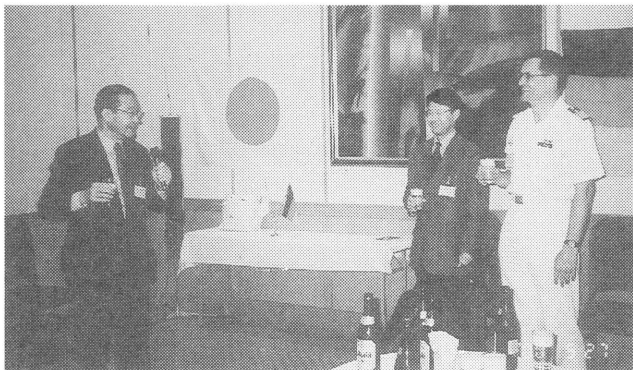
Eiche

Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

 事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-518-1 第二ワールド ナーシング ホーム内
 TEL 047-461-9111 FAX 047-461-7010

2000年 年次総会開催



乾杯する平尾顧問


 前列右より3人目松江理事、大使館の岩村氏、
 ヴァルナー長官、加藤会長、田久保副会長

平成12年5月27日(土) PM3時30分～

ホテルオークラレストラン「桃源」・38名

恒例の当協会年次総会は、5月27日(土)3時30分より、昨年と同じJR千葉駅横そごう10階のホテルオークラレストラン「桃源」個室にて開催された。宮藤常任理事の司会で加藤会長の挨拶の後、鈴木淑弘理事を議長に選出、国枝副会長から平成11年度の事業報告、会計担当の下川さんから同決算報告、高浦監事より監査報告が行われた。更に金谷専務理事より、12年度事業計画及び予算案提示が行われ、全体に対する質疑応答後、新役員に下記の諸氏が選出された。(敬称略)

- | | | |
|--------|--------|----------------|
| (1) 顧問 | 荒木 勇 | (習志野市長) |
| | 平尾 浩三 | (東大名誉教授) |
| (2) 理事 | 友野 信善 | (習志野ドイツ兵頭彰会代表) |
| | 松江 美代子 | (日本大学松戸歯学部助教授) |

総会終了後、記念講演に移り、ドイツ連邦共和国大使館国防武官のライムント・ヴァルナー海軍大佐により「冷戦後のドイツの安全保障正常化への道」と題して、ドイツの国防の現状と日本の防衛に対する大佐の率直な考え方が述べられた(下記)。5時10分からは、田久保副会長の挨拶、平尾顧問の乾杯で懇親会に移り、交流を深めた。後半、会員の自己紹介が行われ、花井理事より別紙の通りパーテル日本庭園造成計画ご支援のお願いがあった。御賛同いただける方は、年会費と合わせ7月末日までにお振り込み下さい。

冷戦後のドイツの安全保障正常化への道

 ライムント・ヴァルナー
 (ドイツ連邦共和国大使館国防武官)

独日両国は、第二次大戦で敗北した結果、ドイツは憲法的な制限を信じ、日本は、その制限を本心に守って国際的な危機管理から遠ざかってきた。つまりドイツ憲法第八十七条の第一項では、連邦軍の出動を防衛目的に限定、一九六八年追加の第二項では、国内における国家の非常事態に対して軍の出動可能となった。一方、第二十四条第二項の「連邦は平和を維持する為に、相互的集団安全保障制度に加入する事ができる。その場合には連邦はその主権を制限し、それにより欧州及び世界の国々に平和で永続的な秩序をもたらす保障する」とあり、湾岸戦争の際、国連やNATOの下でドイツ連邦軍を合法的に国外に派兵出来るかが問題となった。時のコール政権は「三つ又政略」を展開。先ず(1)一九九二年十一月、「ドイツ連邦軍は国連憲章に従い、世界平和と国際的な安全保障の為に役割を果たす」の一文を加え軍隊の全体的な任務を再定義。(2)次に前記第24条で許容される国連主体の活動中、人道的援助や後方支援の為に連邦軍派遣のオプションを拡大実施。(3)更に、これらに反対する人々に対し憲法明記を認めさせるキャンペーンを実施、一九九四年七月に憲法裁判所による連邦軍の活動についての憲法解釈の明確化に成功。それ迄に発生したソマリアへの補給部隊派遣、旧ユーゴに対する国連の武器禁輸措置をバックアップするためのドイツ海軍の派遣、同じく旧ユーゴに対する国連の制裁を支援するための連邦軍の派遣等を正当化したのである。つまり、憲法裁判所は、連邦議会がNATOと国連憲章への加盟を承認している以上、NATO軍に統合され、これら三つの作戦に参加することも合法としたのである。このような独自の、この十年に亘る変化に対し日本では、未だ「二国平和主義」が尊重されており、政治家も再選を気にして平和維持のための武力行使という問題を、有権者と論じる勇氣を持っていない。わずかに一九九二年の国連平和協力法(PKO法)で、前進が見られたが、これも国会でコンセンサスを得る為に法律の根本的部分が凍結され、自衛隊の「個人の資格での参加者」を他の国の武力交渉を伴わない活動を支援する役割に制限された為、世界の期待を満たさないものになっている。しかし、いずれにせよいつまでも現在の状態を続けていると国際社会から受け入れられなくなるであろう。

平成12年度活動計画

- 5月27日(土) 第5回総会
(於 千葉そごう10F “桃源”)
 - H11年度活動報告・決算報告
 - H12年度活動計画・予算案
 - 講演会・懇親会
- 7月15日(土) チター演奏とドイツビール・ワインの会
(下記)
- 9月9日(土) 講演とビール祭り
(於 JR船橋駅前“タタンカ” 会費4000円)
- 10月14日(土) ドイツ留学生交歓会バス旅行
(水戸偕楽園・弘道館) (財)日独協会主催
- 10月 21日(土) 講演とドイツワイン試飲会
(於 船橋東部公民館)
- 11月 ドイツ軍人慰霊碑参拝
- 12月14日(木) クリスマスの集い (財)日独協会主催
- 2月1日(木) 豆まき
- 2~3月 会員交流会

会員交流会

~チター演奏とドイツビール・ワインの集い~

恒例の内藤先生及びお弟子さん達によるチター演奏会を下記要領で行います。

- ◆ 日時：7月15日(土) 13:00~
- ◆ 場所：TOMO 0471-(48)-4711
JR 柏駅西口下車、左手三菱信託銀行を左折
30m 右手の中崎ビル 3F
- ◆ 申込：同封のはがきにて (7月10日必着)
- ◆ 会費：4000円

平成12年度会費納入のお願い

平成12年度会費未納の方は、下記により7月末日迄にお振り込み下さい。(規約により二年以上滞納の方は自動的に退会扱いとなりますのでご注意下さい)

- ◇ 個人会員 3000円
- ◇ 法人会員 10000円

- [振込先] ①千葉興業銀行船橋支店
普通 6141221
名義人 千葉県日独協会
②又は、同封の郵便局振込用紙にて、
加入番号 00180-4-30279
千葉県日独協会宛

柴又の帝釈天・寅さん会館・矢切りの渡しを訪ねて

4月16日(日)当協会主催のハイキングが催された。参加者は20人(ドイツ人4名、会員16名)

東京「歴史と文化の散歩道」23選の第19番目、柴又コース3.1Km(東京都生活文化局推奨)に沿って江戸川周辺を散策。先ず、10時45分京成柴又駅集合 ①柴又帝釈天②寅さん会館③矢切りの渡し④日本の音風景100選⑤江戸川土手散歩⑥坂本理事宅での日本文化体験を交えての懇親会

一行は賑わう表参道を映画・寅さんシリーズの舞台で有名な柴又の下町情緒にひたひたながら帝釈天経栄山題経寺へ。総けやき造りの本堂、外壁の木彫りを見学、参拝。葛飾柴又寅さん会館では「男はつらいよ」の懐かしの名場面・名セリフがビデオやセットで再現されている。ドイツ人の参加者も以前 JAPAN TIMES で紹介されたこの会館の記事を見ながら鑑賞。矢切りの渡しは江戸時代からの渡し場で当時は嚴重取り締まりの要所であったという。今は船頭さん一人が小さな手漕ぎの和船で観光客を対岸まで渡している。千葉県松戸市側の江戸川土手の上がると奇妙な形のねじれた碑が路肩に立っているのが見える。これが「日本の音風景100選」の碑(平成8年環境庁認定)。碑には不揃いな穴が四つ有り集音型になっている。耳を当てて、江戸川周辺を音として楽しむことが出来る。更に、江戸川土手の若草を踏み分けて歩くこと20分。ネギやキャベツ畑を横切りこんもりと繁った雑木林の台地を上がり栗山古墳群がある保存林の一角の拙宅へ。皆で乾杯。食事後、尾上流名取高安和枝さん(舞踏暦45年)の「新隅田川」を鑑賞。流石に舞いの動きに隙がない。次は表千家師範山本ちか子さんとそのお弟子さん4人のお嬢様方によるお手前。静かな手捌き、作法に基づく動きと衣ずれの音。お茶を前に深々と座礼が続く。慣れない正座に耐えている面々。大きなお茶碗が、それぞれ顔の前で傾いていく。茶道具をめ、終わっても立てない。お互いに脚がしびれて、よろける度に一同緊張が解れて爆笑の渦。後は全員での懇親会。会員の伊東さんよりドイツワイン4本、下川さんより枝豆の寄贈有り、ワイン・缶ビール・大吟醸酒などで会は盛り上がる。帰りには塩水港精糖(株)より「オリゴのおかげ」が全員に配られた。参加したポトンド・ラザー氏、ピーター・ステッカー氏、ロッコ・ブツ氏、ズザンネ・フリーツ嬢からも大いに楽しかったと喜ばれた。(理事 坂本隆夫記)



矢切りの渡し



最後列右より坂本夫人、ブツ氏、ステッカー氏、ラザー氏
最前列中央高安さん、山本さん